



# 矢作建設工業株式会社

## 2026年3月期 決算説明資料

証券コード1870  
(東証プライム・名証プレミア)

2026年5月12日

## 2026年 3月期 実績

- 複数の大型建築工事の施工が最盛期を迎えたことで、売上高は前期比20.4%増収となり、過去最高を更新
- 増収効果に加え、工事採算性の向上などにより、各利益段階においても過去最高を更新

連結売上高  
**1,693**億円  
前期比 +20.4%

連結営業利益  
**137**億円  
前期比 +58.8%

当期純利益  
**84**億円  
前期比 +50.0%

1株配当金  
**100**円  
前期比 +20円

## 2027年 3月期 予想

- 建築事業の減収に加え、不動産事業も分譲マンション事業の譲渡（詳細はP24を参照）に伴い減収となることから、売上高は前期比11.5%の減収を見込む
- 減収の影響により営業利益は前期比34.5%の減益を見込む一方、当期純利益は特別利益の計上などにより、前期比3.2%の微減となる見込み

連結売上高  
**1,500**億円  
前期比 △11.5%

連結営業利益  
**90**億円  
前期比 △34.5%

当期純利益  
**82**億円  
前期比 △3.2%

1株配当金  
**100**円  
前期 同額

# INDEX

1. 2026年3月期 業績 .....	4
2. 2027年3月期 業績予想 .....	14
3. 株主還元及び資本収益性分析 .....	19
4. 参考情報 .....	23

1

# 2026年3月期業績

# 2026年3月期 連結損益計算書



## 売上高

複数の大型工事の施工が最盛期を迎えたことで、売上高は20.4%増収となり、過去最高を更新

## 利益

増収効果に加え、工事採算性の向上などにより、各利益段階においても過去最高を更新

(単位：百万円)

	2025.3 実績	2026.3 実績	前期比		2026.3 期首予想	期首予想比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>140,699</b>	<b>169,399</b>	28,700	20.4%	<b>168,000</b>	1,399	0.8%
完成工事高	118,701	150,156	31,454	26.5%	150,000	156	0.1%
不動産事業等売上高	21,997	19,243	△2,754	△12.5%	18,000	1,243	6.9%
<b>売上総利益</b>	<b>19,416</b>	<b>25,980</b>	6,564	33.8%	<b>21,500</b>	4,480	20.8%
(売上総利益率)	(13.8%)	(15.3%)	1.5pt		(12.8%)	2.5pt	
完成工事総利益	10,836	18,888	8,052	74.3%	15,000	3,888	25.9%
不動産事業等総利益	8,580	7,092	△1,488	△17.3%	6,500	592	9.1%
販売費及び一般管理費	10,762	12,238	1,476	13.7%	11,500	738	6.4%
<b>営業利益</b>	<b>8,654</b>	<b>13,742</b>	5,088	58.8%	<b>10,000</b>	3,742	37.4%
(営業利益率)	(6.2%)	(8.1%)	1.9pt		(6.0%)	2.1pt	
<b>経常利益</b>	<b>8,616</b>	<b>13,698</b>	5,081	59.0%	<b>9,900</b>	3,798	38.4%
(経常利益率)	(6.1%)	(8.1%)	2.0pt		(5.9%)	2.2pt	
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>5,643</b>	<b>8,468</b>	2,824	50.0%	<b>6,600</b>	1,868	28.3%
(当期純利益率)	(4.0%)	(5.0%)	1.0pt		(3.9%)	1.1pt	

1  
2026年3月期業績

2  
2027年3月期業績予想

3  
株主還元及び  
資本収益性分析

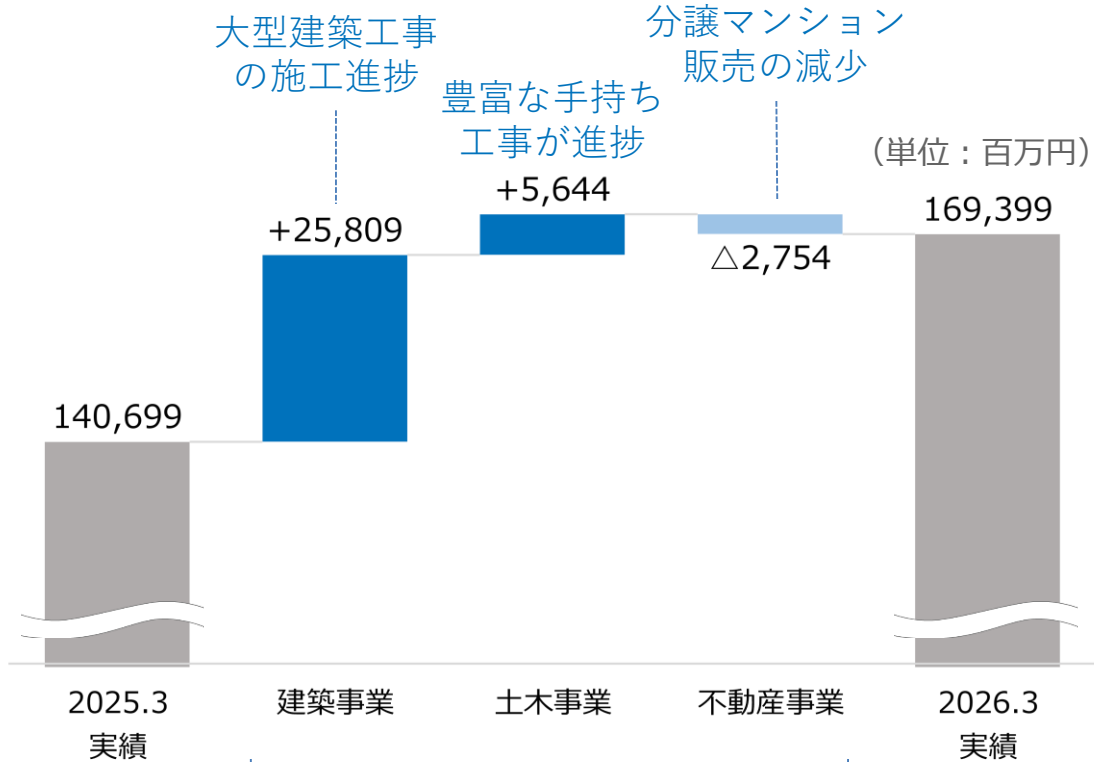
4  
参考情報

# 2026年3月期売上高・営業利益増減要因(対前期実績)



## 売上高

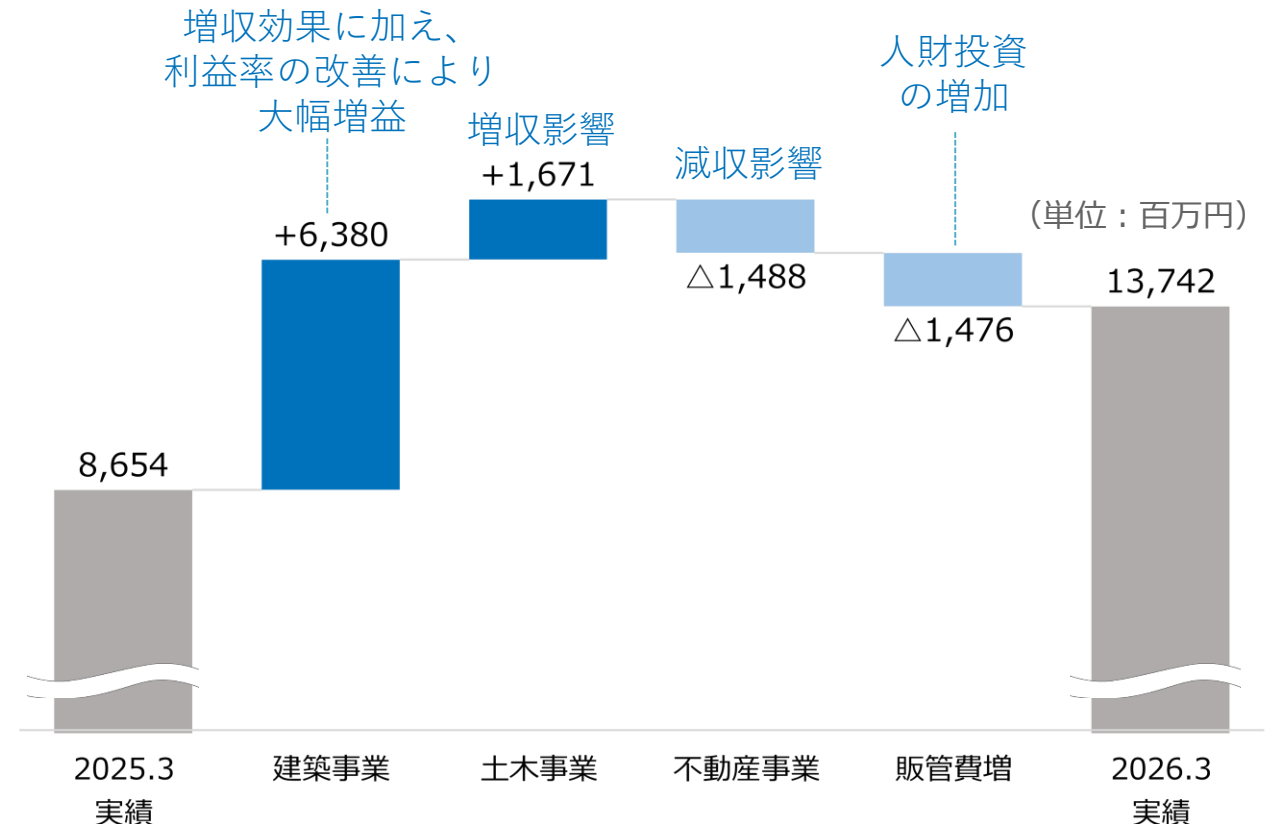
大型建築工事の施工進捗により、前期比287億円の大幅増収となり、前期に引き続き過去最高を更新



前期比 **287億円増** ➡

## 営業利益

建築事業、土木事業の増益により、前期比50億円の増益となり、過去最高を更新



前期比 **50億円増** ➡

1 2026年3月期業績

2 2027年3月期業績予想

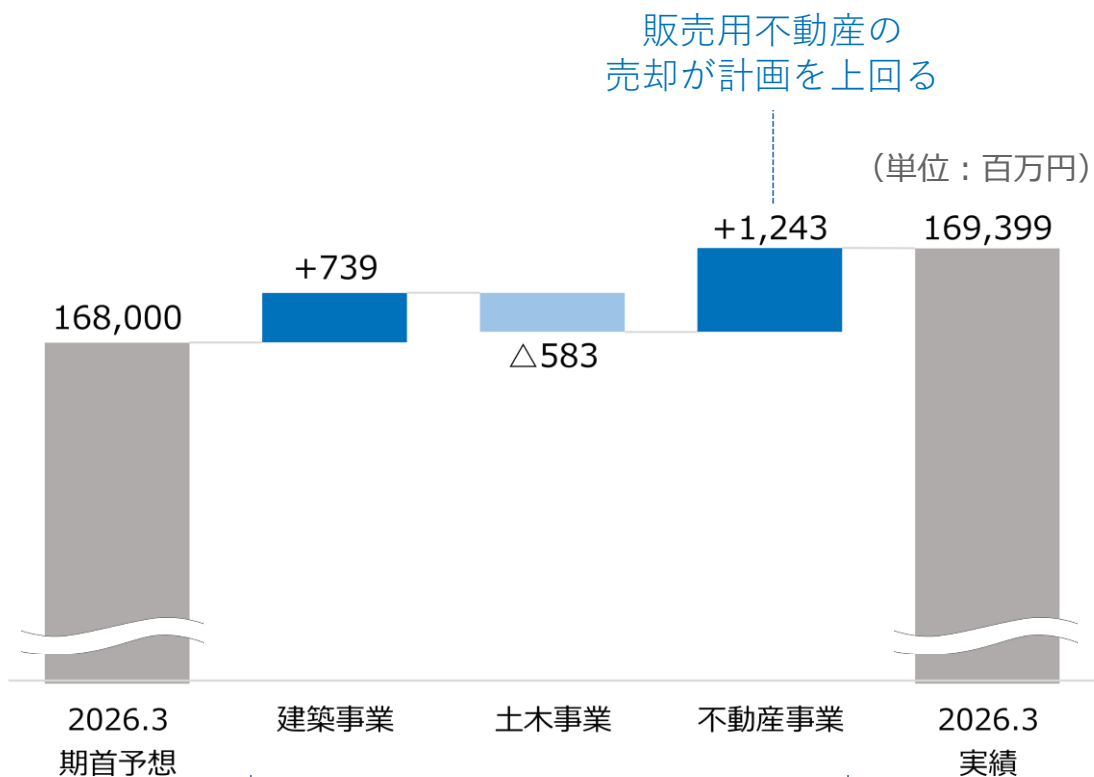
3 株主還元及び資本収益性分析

4 参考情報

# 2026年3月期売上高・営業利益増減要因(対期首予想)

## 売上高

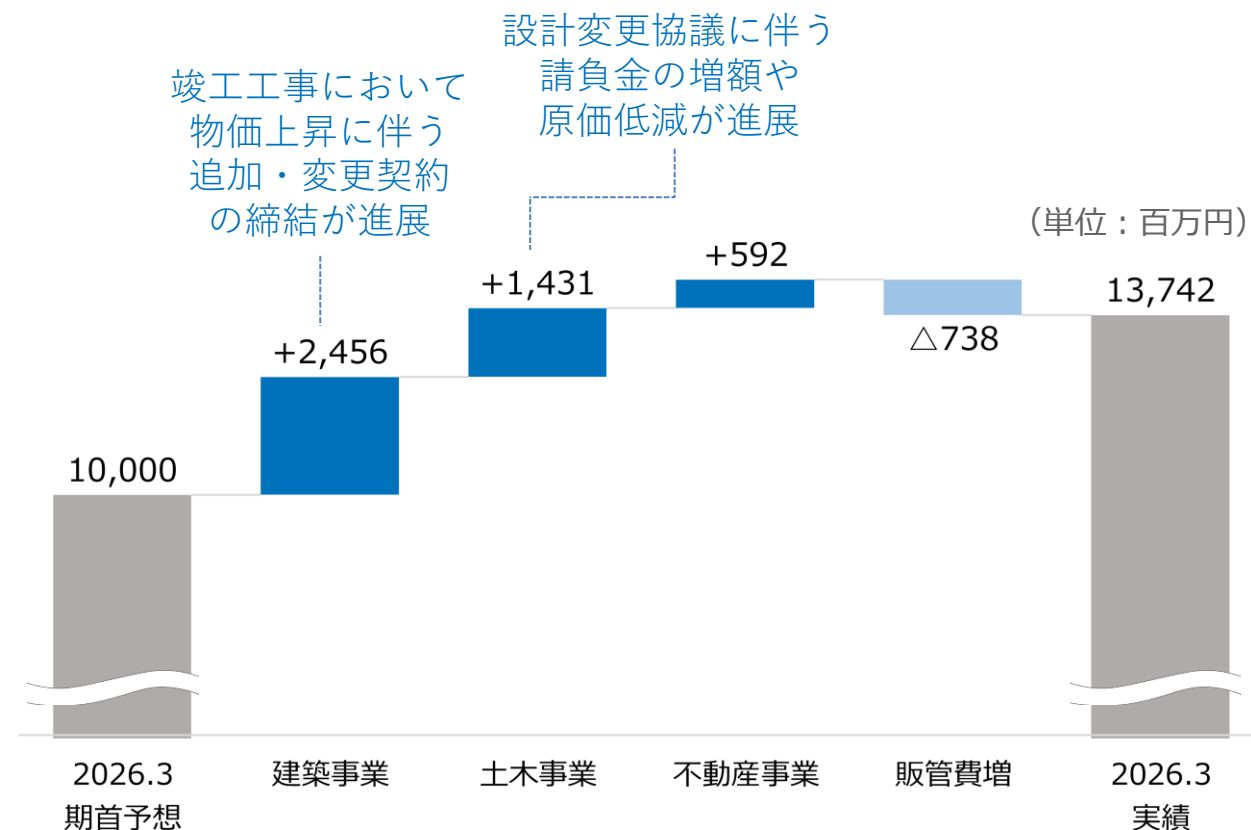
不動産販売の進捗により、期首予想を13億円上回る



予想比 **13億円増** ➡

## 営業利益

建築事業、土木事業、不動産事業の各事業が予想を上回り、営業利益全体では期首予想を37億円上回る



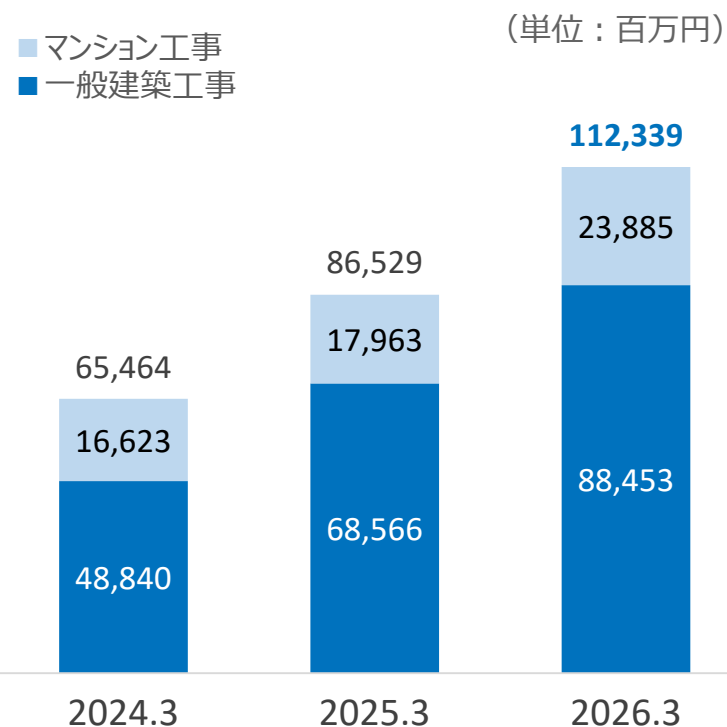
予想比 **37億円増** ➡

# 2026年3月期〈事業別概況〉建築事業



## 売上高

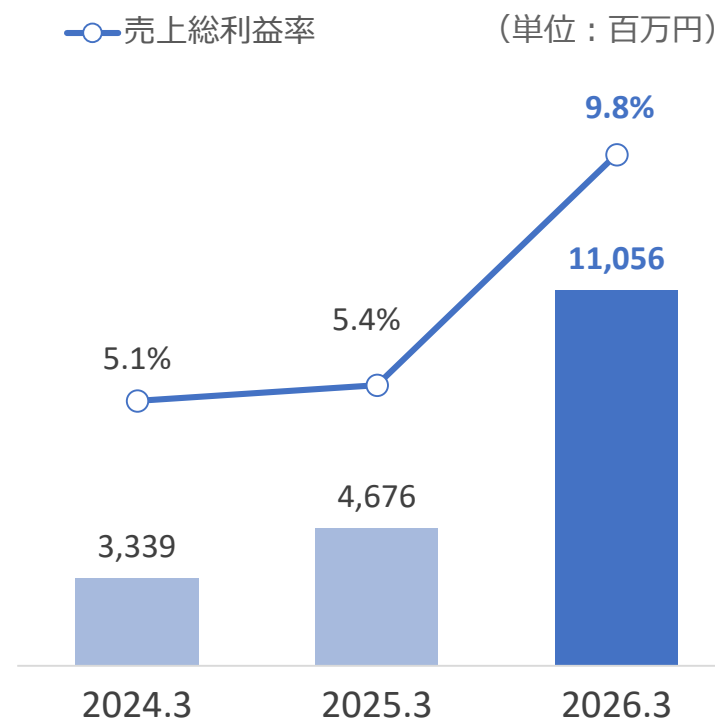
大型物流施設工事を中心に、最盛期を迎えた複数の大型工事が順調に進捗し、前期比258億円の大幅増収



前期比 **258億円増** (29.8%増) ↗

## 売上総利益

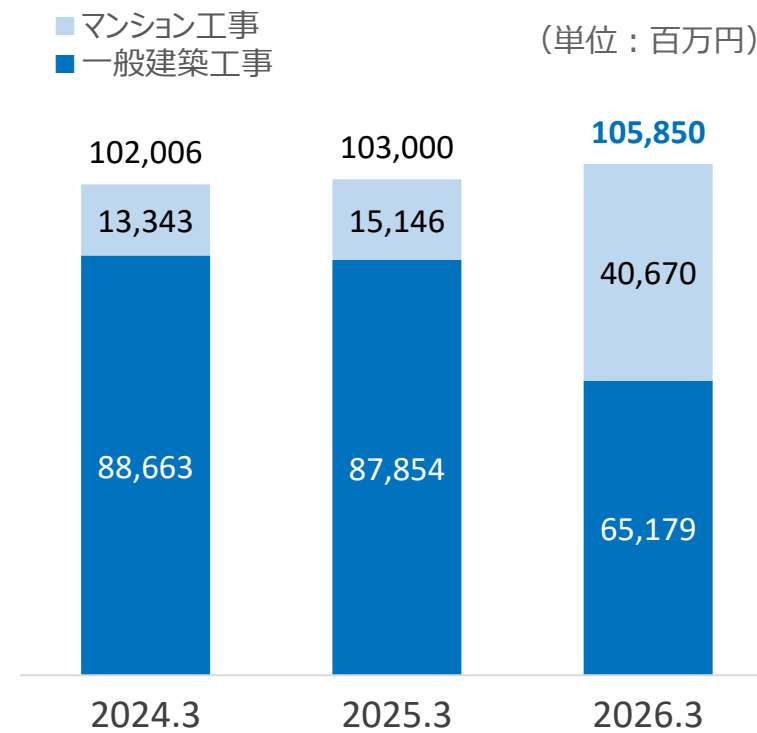
増収効果に加え、物価上昇分の価格転嫁の進展や、前期の工事損失引当金計上の反動などにより、前期比63億円の大幅増益



前期比 **63億円増** (136.5%増) ↗

## 受注高

複数の大型マンション工事を受注するなど、引き続き高水準を維持



前期比 **28億円増** (2.8%増) ↗

1  
2026年3月期業績

2  
2027年3月期業績予想

3  
株主還元及び  
資本収益性分析

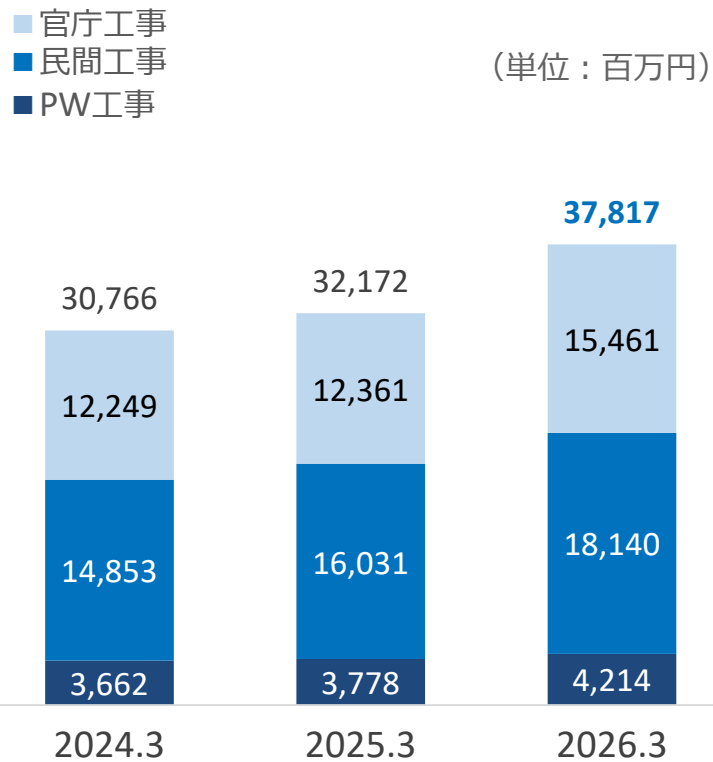
4  
参考情報

# 2026年3月期〈事業別概況〉土木事業



## 売上高

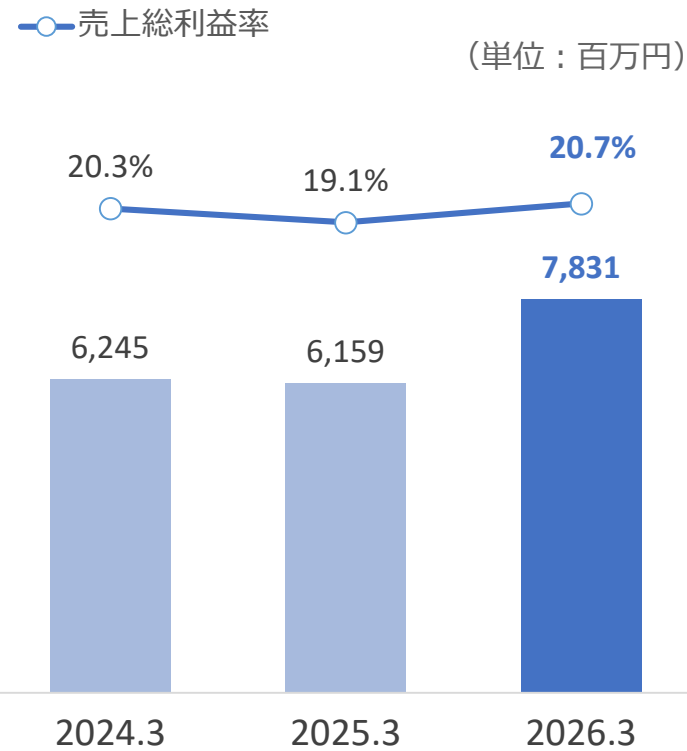
官庁工事、民間工事ともに豊富な手持ち工事が進捗し、前期比56億円の増収



前期比 **56億円増** (17.5%増) ↗

## 売上総利益

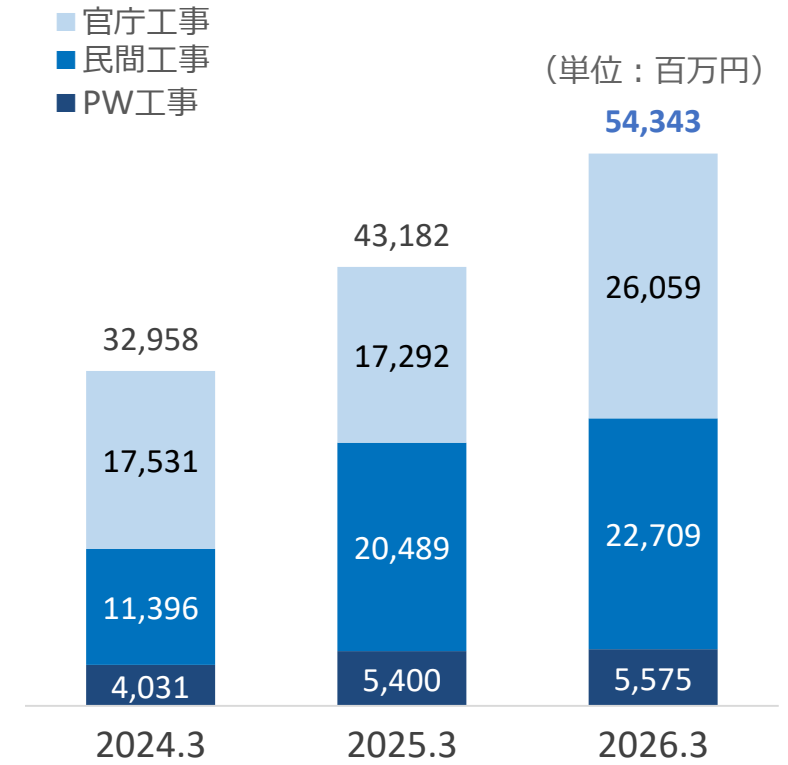
増収効果に加え、設計変更に伴う請負金の増額や原価低減の進展により、前期比16億円の増益



前期比 **16億円増** (27.1%増) ↗

## 受注高

複数の大型官庁工事の受注により、前期比111億円の大幅増加



前期比 **111億円増** (25.8%増) ↗

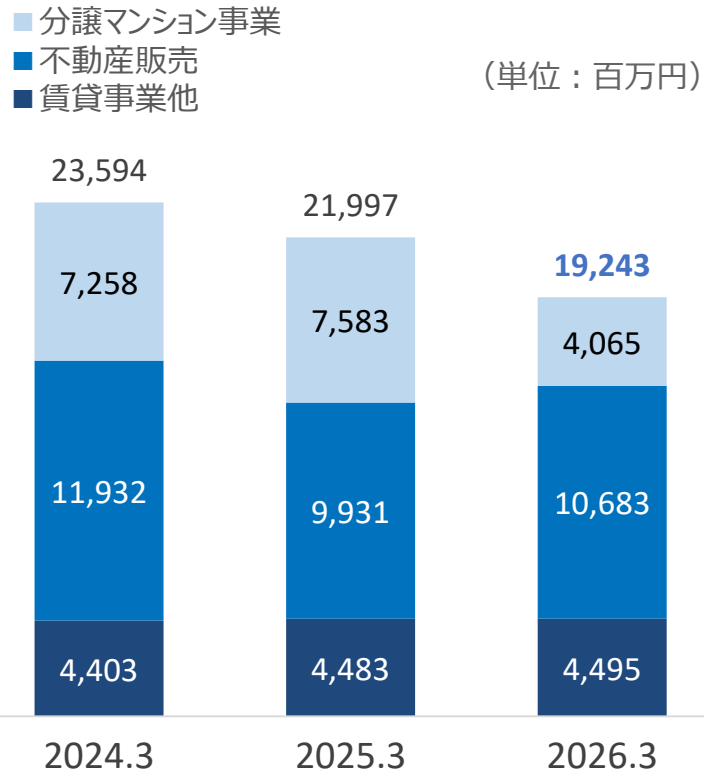
※PW工事：当社独自技術である地山補強土工法の「パンウォール工法」による工事

# 2026年3月期〈事業別概況〉不動産事業



## 売上高

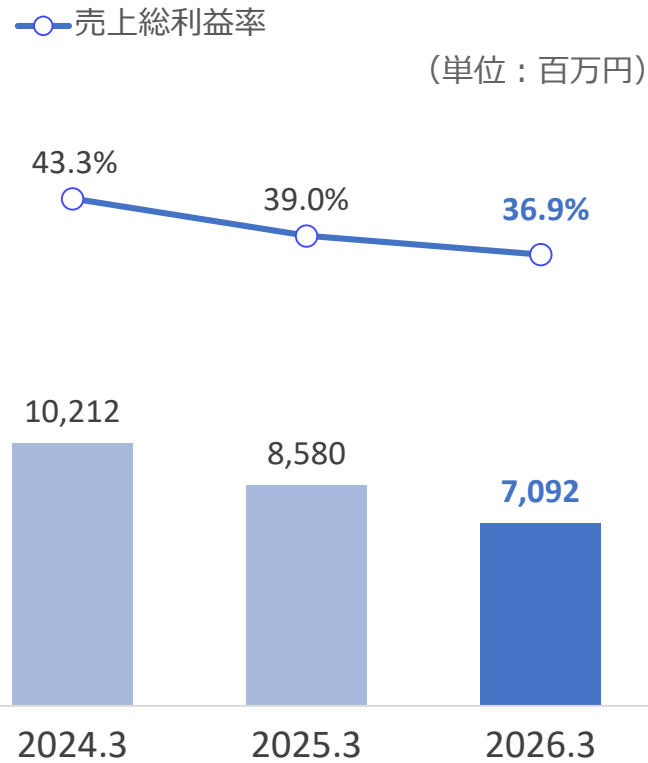
分譲マンション事業において、新規供給戸数の減少に伴う販売戸数の減少により、前期比27億円の減収



前期比 **27億円減** (12.5%減) ↘

## 売上総利益

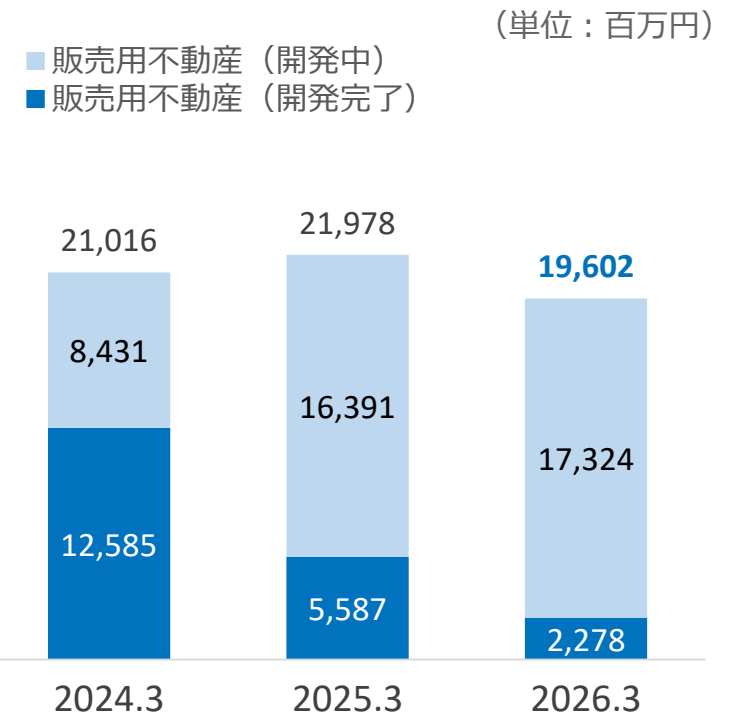
減収の影響により、前期比14億円の減益



前期比 **14億円減** (17.3%減) ↘

## 販売用不動産残高

分譲マンション事業の譲渡に伴う販売用不動産の減少により、前期末から23億円減少



前期比 **23億円減** (10.8%減) ↘

1  
2026年3月期業績

2  
2027年3月期業績予想

3  
株主還元及び  
資本収益性分析

4  
参考情報

# 2026年3月期受注高、次期繰越高総括

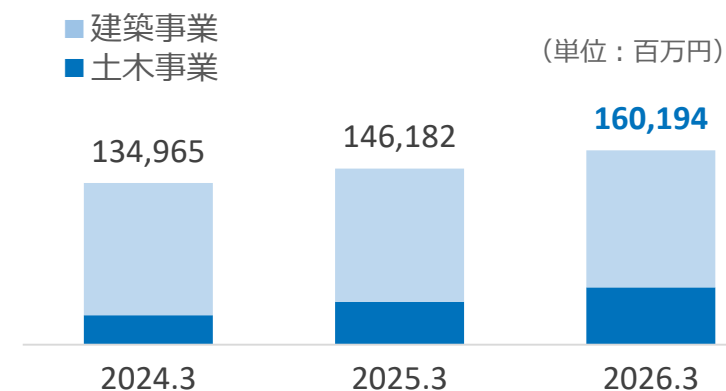
## 受注高

建築事業、土木事業ともに高水準の受注が継続しており、5期連続で過去最高を更新

(単位：百万円)

	2024.3 実績	2025.3 実績	2026.3 実績	前期比	
				増減額	増減率
建築事業	102,006	103,000	105,850	2,849	2.8%
土木事業	32,958	43,182	54,343	11,161	25.8%
合計	134,965	146,182	160,194	14,011	9.6%

前期比 **140億円増 (9.6%増)** →



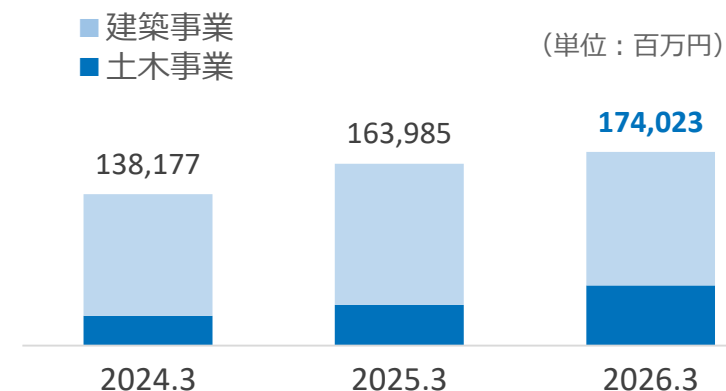
## 次期繰越高

受注高の増加により、今後の売上高に寄与する次期繰越高についても、5期連続で過去最高を更新

(単位：百万円)

	2024.3 実績	2025.3 実績	2026.3 実績	前期比	
				増減額	増減率
建築事業	103,171	119,643	113,153	△6,489	△5.4%
土木事業	35,005	44,342	60,869	16,526	37.3%
合計	138,177	163,985	174,023	10,037	6.1%

前期比 **100億円増 (6.1%増)** →



# 2026年3月期 連結財政状態



## 総資産

保有不動産の売却などにより、販売用不動産および有形固定資産は減少した一方、建築事業の施工進捗に伴う売上債権の増加により、総資産は34億円増加

## 有利子負債

借入金の返済を進めた結果、有利子負債は78億円減少の308億円となり、D/Eレシオ<sup>※</sup>は0.4倍に低下

## 純資産

利益剰余金の計上などにより、純資産は71億円増加の760億円となり、自己資本比率は51.5%に上昇

(単位：百万円)

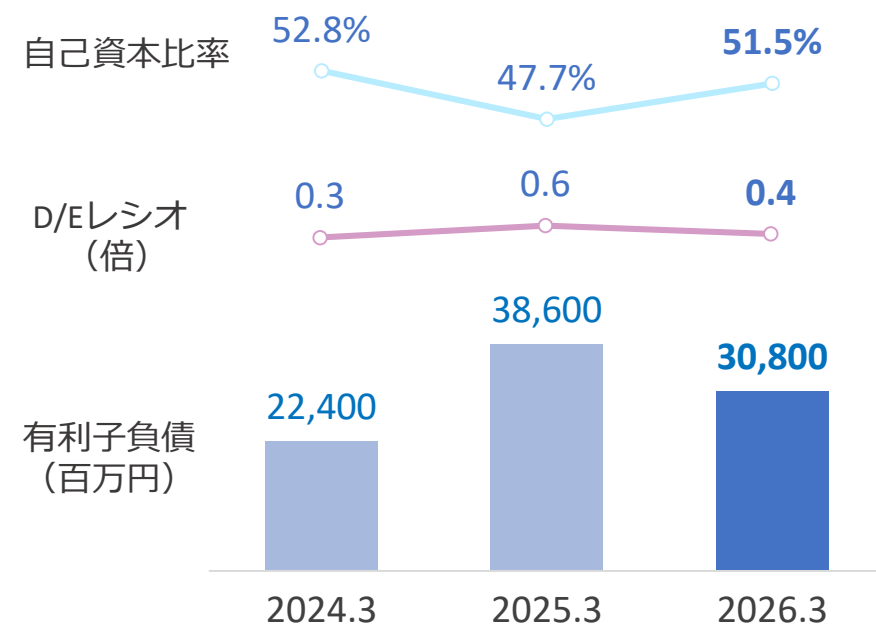
資産の部		2026.3 実績	前期末比 増減
流動資産	現金預金	16,260	591
	売上債権	66,590	8,372
	未成工事支出金	3,310	△10
	販売用不動産	19,602	△2,375
	その他	8,286	△720
計		114,051	5,858
固定資産	有形固定資産	22,596	△2,542
	無形固定資産	738	△24
	投資その他の資産	10,276	151
	計	33,611	△2,416

資産合計	147,662	3,442
------	---------	-------

負債の部		2026.3 実績	前期末比 増減
流動負債	仕入債務	13,075	△1,478
	短期借入金	23,500	△3,100
	未成工事受入金	10,590	242
	その他	10,988	7,017
計		58,154	2,681
固定負債	長期借入金	7,300	△4,700
	その他	6,198	△1,713
計		13,498	△6,413
負債合計		71,652	△3,732
純資産		76,010	7,174

負債・純資産合計	147,662	3,442
----------	---------	-------

## 有利子負債・D/Eレシオ・自己資本比率



※D/Eレシオ：有利子負債÷自己資本

1  
2026年3月期業績

2  
2027年3月期業績予想

3  
株主還元及び  
資本収益性分析

4  
参考情報

# 2026年3月期 連結キャッシュ・フロー



当期末における現金及び現金同等物の残高は162億円となり、前期末から6億円増加

**営業CF** 税金等調整前純利益の計上などにより、98億円のプラス

**投資CF** 固定資産の売却などにより、19億円のプラス

**財務CF** 借入金の返済を進めたことなどにより、111億円のマイナス

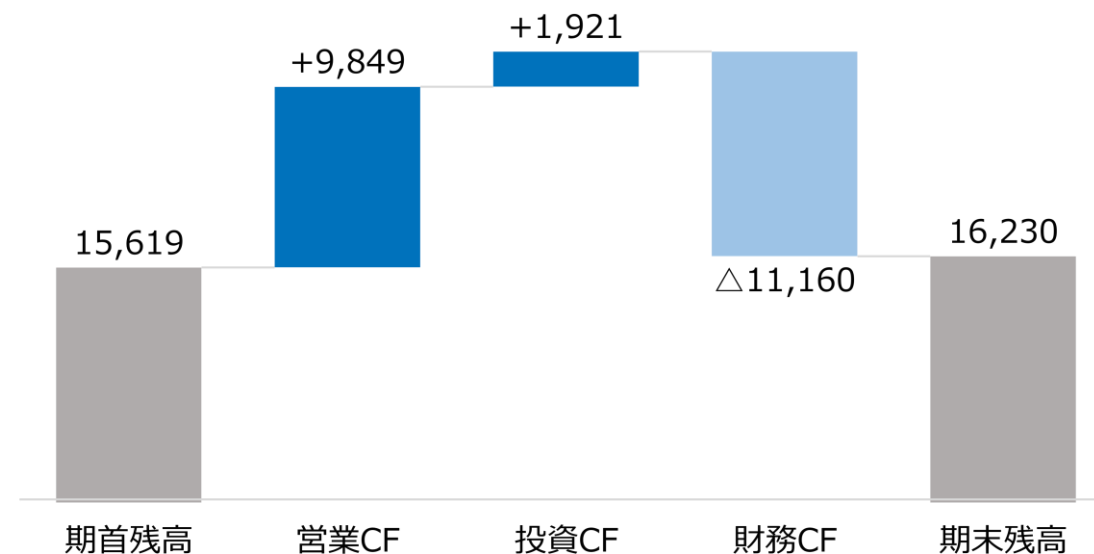
## キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

	2024.3	2025.3	2026.3
営業キャッシュ・フロー	10,235	△17,191	<b>9,849</b>
投資キャッシュ・フロー	△1,181	△255	<b>1,921</b>
フリーキャッシュ・フロー	9,054	△17,446	<b>11,770</b>
財務キャッシュ・フロー	△11,857	13,149	<b>△11,160</b>

## 当期のキャッシュ・フロー詳細

(単位：百万円)



1  
2026年3月期業績

2  
2027年3月期業績予想

3  
株主還元及び資本収益性分析

4  
参考情報

2

# 2027年3月期業績予想

# 2027年3月期業績予想



## 売上高

前期に複数の大型建築工事が施工の最盛期を迎えた反動に加え、不動産事業における分譲マンション事業の譲渡に伴う減収により、売上高は前期比193億円の減収を見込む

## 利益

減収の影響により、営業利益は前期比47億円の大幅減益を見込む一方、分譲マンション管理事業の譲渡益や、政策保有株式の売却などの利益計上により、当期純利益は前期比2億円の微減となる見込み

(単位：百万円)

	2026.3 実績	2027.3 通期予想	前期比 (通期)		2025.9 中間実績	2026.9 中間予想	前期比 (中間)	
			増減額	増減率			増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>169,399</b>	<b>150,000</b>	△19,399	△11.5%	<b>89,665</b>	<b>65,800</b>	△23,865	△26.6%
完成工事高	150,156	139,000	△11,156	△7.4%	79,064	63,000	△16,064	△20.3%
不動産事業等売上高	19,243	11,000	△8,243	△42.8%	10,601	2,800	△7,801	△73.6%
<b>売上総利益</b>	<b>25,980</b>	<b>20,800</b>	△5,180	△19.9%	<b>13,331</b>	<b>6,800</b>	△6,531	△49.0%
(売上総利益率)	(15.3%)	(13.9%)	△1.4pt		(14.9%)	(10.3%)	△4.6pt	
完成工事総利益	18,888	16,700	△2,188	△11.6%	9,655	6,300	△3,355	△34.8%
不動産事業等総利益	7,092	4,100	△2,992	△42.2%	3,676	500	△3,176	△86.4%
販売費及び一般管理費	12,238	11,800	△438	△3.6%	5,341	5,700	359	6.7%
<b>営業利益</b>	<b>13,742</b>	<b>9,000</b>	△4,742	△34.5%	<b>7,989</b>	<b>1,100</b>	△6,889	△86.2%
(営業利益率)	(8.1%)	(6.0%)	△2.1pt		(8.9%)	(1.7%)	△7.2pt	
<b>経常利益</b>	<b>13,698</b>	<b>8,880</b>	△4,818	△35.2%	<b>7,982</b>	<b>1,030</b>	△6,952	△87.1%
(経常利益率)	(8.1%)	(5.9%)	△2.2pt		(8.9%)	(1.6%)	△7.3pt	
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>8,468</b>	<b>8,200</b>	△268	△3.2%	<b>5,737</b>	<b>2,300</b>	△3,437	△59.9%
(当期純利益率)	(5.0%)	(5.5%)	0.5pt		(6.4%)	(3.5%)	△2.9pt	

1  
2026年3月期業績

2  
2027年3月期業績予想

3  
株主還元及び  
資本収益性分析

4  
参考情報

# 2027年3月期業績予想(事業別)



(単位：百万円)

	2026.3 実績	2027.3 通期予想	前期比(通期)		2025.9 中間実績	2026.9 中間予想	前期比(中間)	
			増減額	増減率			増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>169,399</b>	<b>150,000</b>	△19,399	△11.5%	<b>89,665</b>	<b>65,800</b>	△23,865	△26.6%
完成工事高	150,156	139,000	△11,156	△7.4%	79,064	63,000	△16,064	△20.3%
建築事業	112,339	97,000	△15,339	△13.7%	62,300	44,800	△17,500	△28.1%
土木事業	37,817	42,000	4,182	11.1%	16,763	18,200	1,436	8.6%
不動産事業等売上高	19,243	11,000	△8,243	△42.8%	10,601	2,800	△7,801	△73.6%
<b>売上総利益</b>	<b>25,980</b>	<b>20,800</b>	△5,180	△19.9%	<b>13,331</b>	<b>6,800</b>	△6,531	△49.0%
完成工事総利益	18,888	16,700	△2,188	△11.6%	9,655	6,300	△3,355	△34.8%
(完成工事総利益率)	(12.6%)	(12.0%)	△0.6pt		(12.2%)	(10.0%)	△2.2pt	
建築事業	11,056	8,500	△2,556	△23.1%	6,596	3,250	△3,346	△50.7%
(建築事業利益率)	(9.8%)	(8.8%)	△1.0pt		(10.6%)	(7.3%)	△3.3pt	
土木事業	7,831	8,200	368	4.7%	3,059	3,050	△9	△0.3%
(土木事業利益率)	(20.7%)	(19.5%)	△1.2pt		(18.3%)	(16.8%)	△1.5pt	
不動産事業等総利益	7,092	4,100	△2,992	△42.2%	3,676	500	△3,176	△86.4%
(不動産事業等総利益率)	(36.9%)	(37.3%)	0.4pt		(34.7%)	(17.9%)	△16.8pt	

1

2026年3月期業績

2

2027年3月期業績予想

3

株主還元及び  
資本収益性分析

4

参考情報

# 2027年3月期売上高・営業利益増減要因(対2026.3実績)

## 売上高

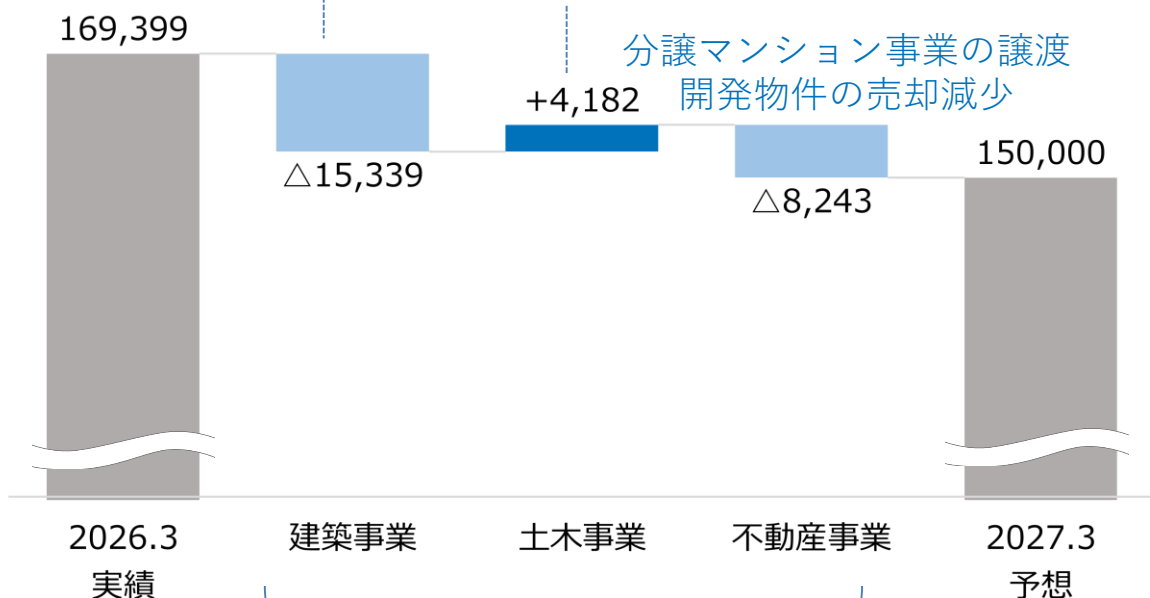
建築事業および不動産事業の大幅減収により、  
前期比193億円の減収を見込む

前期に複数の大型建築工事の  
施工の最盛期が重なった  
反動による減収

海昌の子会社化による増収  
(P24を参照)

分譲マンション事業の譲渡  
開発物件の売却減少

(単位：百万円)

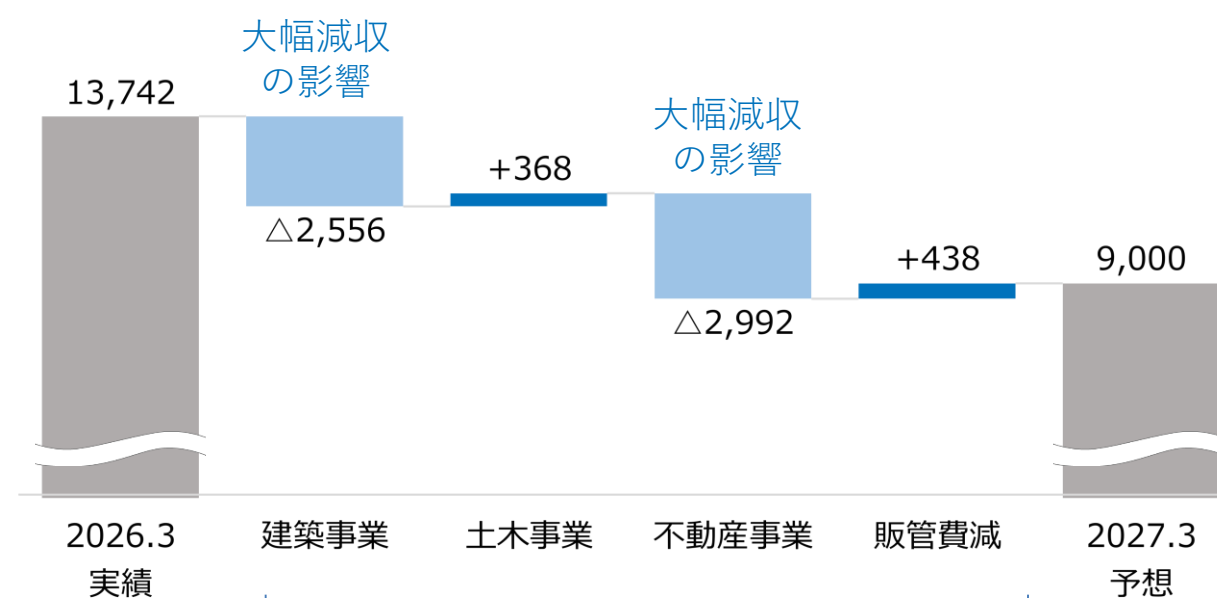


前期比 **193**億円減

## 営業利益

大幅な減収の影響により、前期比47億円の減益を見込む

(単位：百万円)

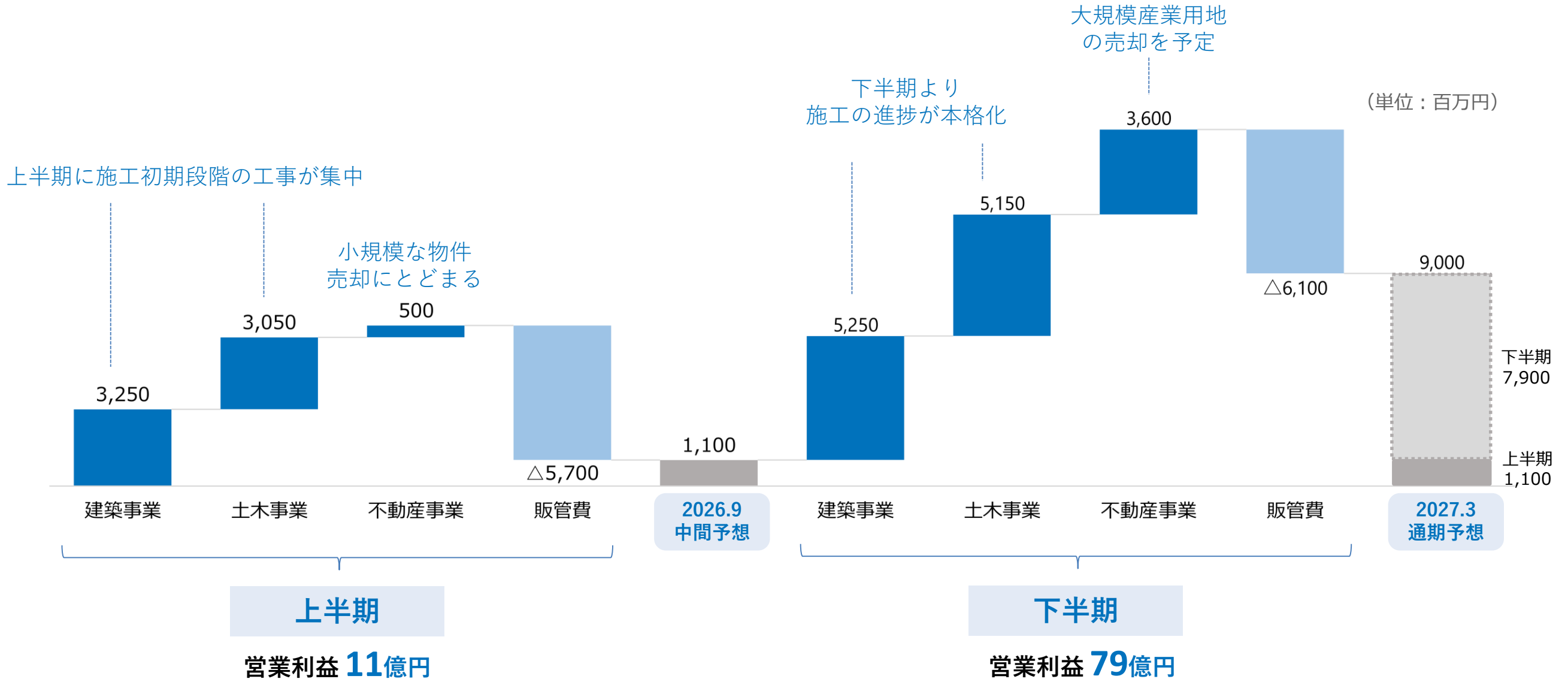


前期比 **47**億円減

# 2027年3月期 上半期と下半期の営業利益構成



各事業の利益計上が下半期に集中し、通期営業利益90億円の大半を下半期で計上する見込み



- 1 2026年3月期業績
- 2 2027年3月期業績予想
- 3 株主還元及び資本収益性分析
- 4 参考情報

3

# 株主還元及び資本収益性分析

## 配当方針：自己資本配当率（DOE）5%以上、累進配当

### 2026.3実績

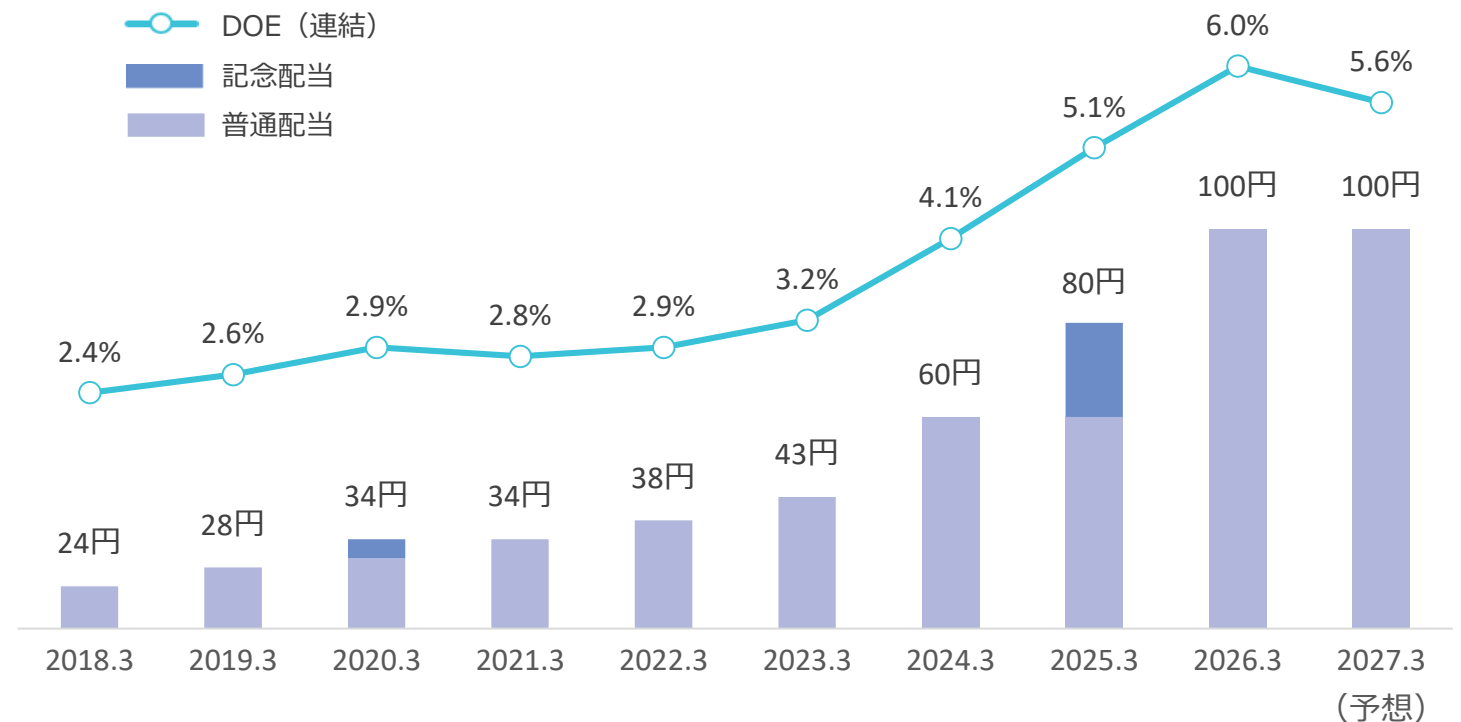
期末配当金は当初予想の45円から10円増額の55円とし、実施済みの中間配当金45円と合わせ、年間配当は100円

### 2027.3予想

当期は減益予想であるものの、累進配当方針に基づき、年間配当金は前期と同額の100円を予想

	2025.3	2026.3	2027.3 (予想)
中間配当金	40円	45円	50円
期末配当金	40円	55円	50円
年間配当金	80円	100円	100円
配当性向	61.0%	50.8%	52.7%
自己資本配当率 (DOE)	5.1%	6.0%	5.6%

## 1株当たり年間配当金

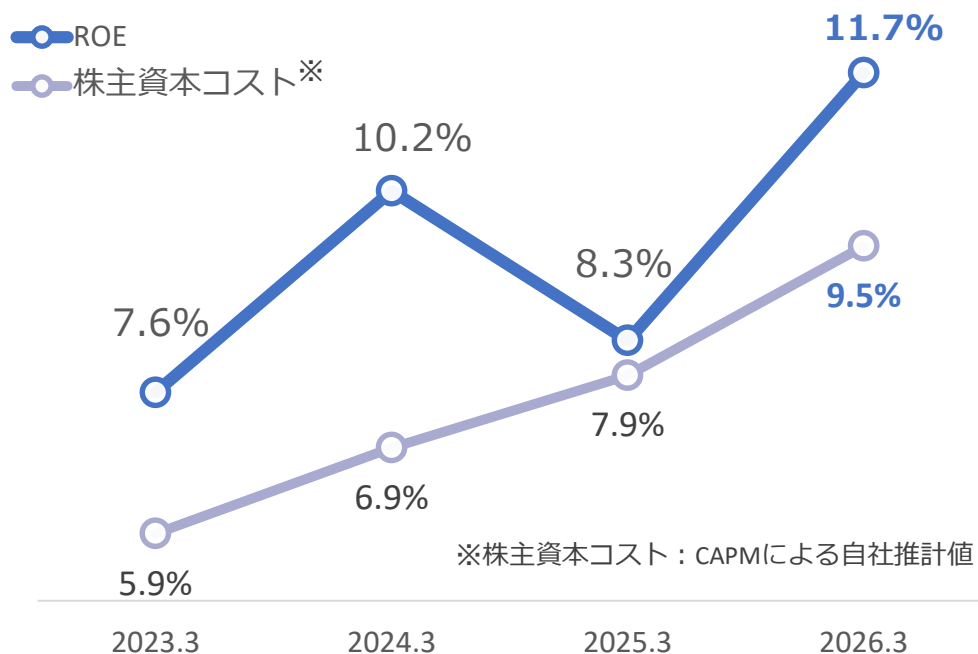


# ROEの現状分析



2026.3時点 **ROE 11.7%** = 売上高当期純利益率 5.0% × 総資産回転率 1.16回 × 財務レバレッジ 2.02倍

## ROE (自己資本利益率)

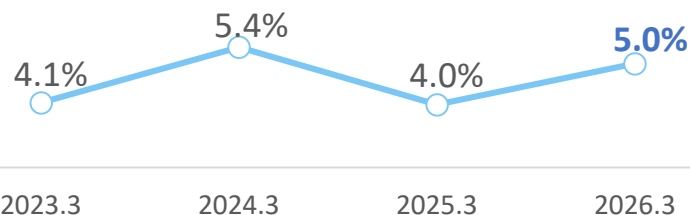


## 2026.3実績

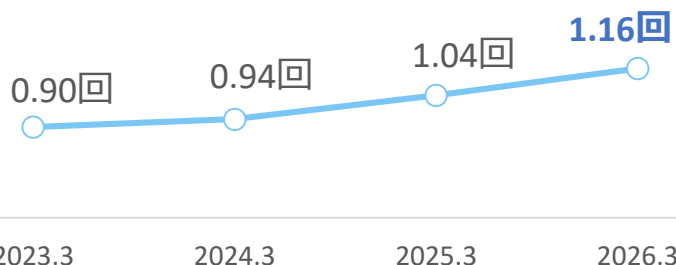
売上高当期純利益率の改善に加え、総資産回転率も向上したことにより、ROEは11.7%と前期から3.4ポイント上昇

一方、国債金利の上昇に伴うリスクフリーレートの上昇や、株価変動によるβ値（市場感応度）の上昇により、株主資本コストも上昇傾向にあることから、さらなる収益改善と資本効率の向上に取り組む

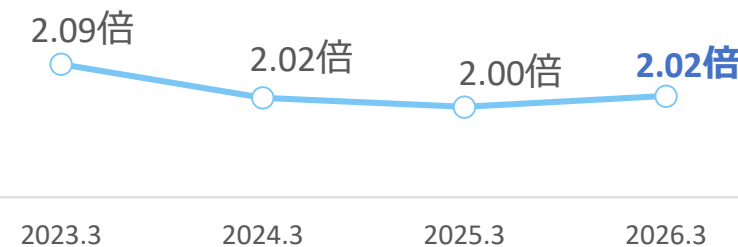
## 売上高当期純利益率



## 総資産回転率



## 財務レバレッジ



1

2026年3月期業績

2

2027年3月期業績予想

3

株主還元及び資本収益性分析

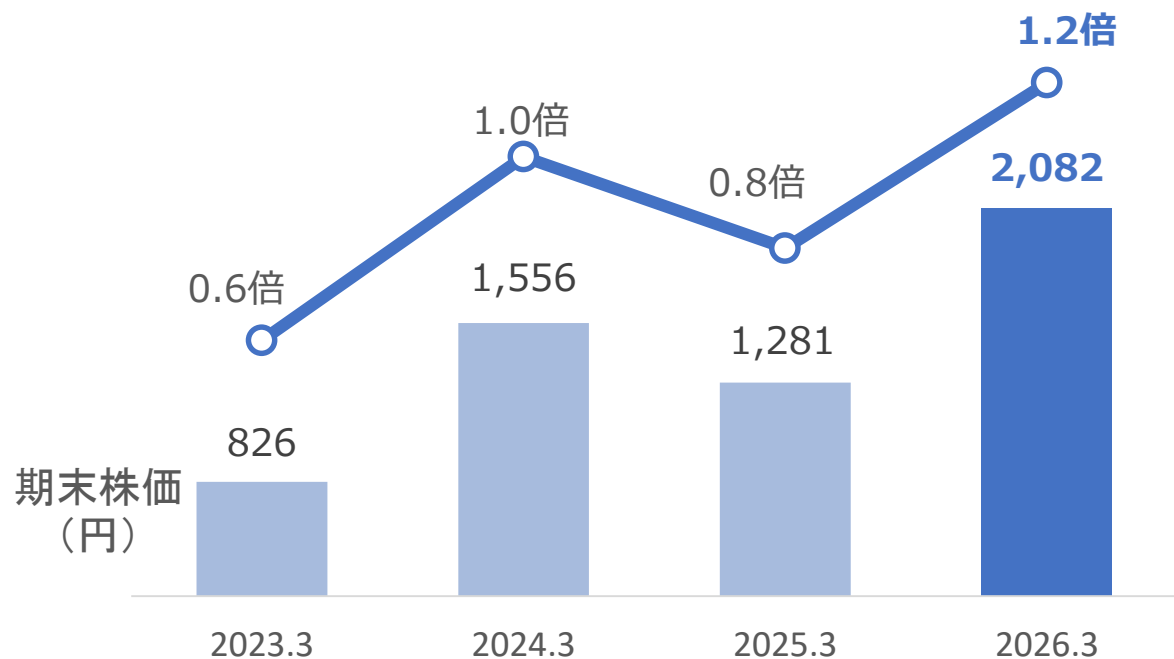
4

参考情報

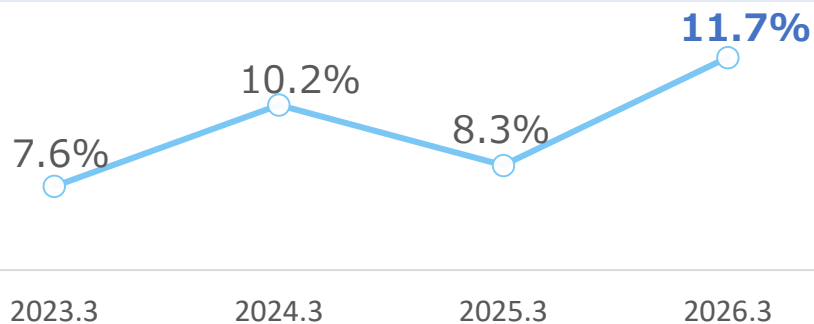
# PBRの現状分析

2026.3時点 **PBR 1.2倍** = ROE 11.7% × PER 10.1倍

## PBR (株価純資産倍率)



## ROE (自己資本利益率)



## 企業価値向上に向けた取組 (一例)

2024.3期 機関投資家向け決算説明会、個人投資家向け会社説明会を初開催  
日経IR・個人投資家フェアへ初出展

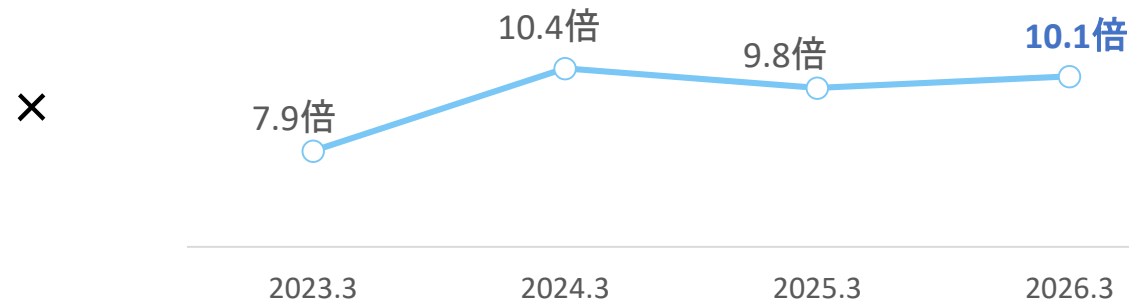
2025.3期 株式流動性の向上を目的に、発行済株式数対比19.7%の「売出し」を実施

2026.3期 配当方針を「配当性向30%以上」から「DOE 5%以上かつ累進配当」へ変更  
従業員の経営参画意識の向上を目的とした株式付与を実施  
機関投資家面談数は2025.3期の8件から2026.3期は42件へ増加

## 2026.3実績

ROEの向上と各種企業価値向上施策の推進により、2026年3月末時点のPBRは1倍超の水準を確保

## PER (株価収益率)



4

# 参考情報

## M&Aによる成長領域の強化と事業譲渡による選択と集中を通じ、中長期的な収益基盤を強化

### M&A

#### 株式会社 海昌の子会社化 2026年4月

法面補強分野において、当社独自の「パンウォール工法」と親和性の高い「スタンドドライブ工法」を有する海昌を子会社化。両社の技術・営業・施工体制を連携させることで、商品ラインナップの拡充、受注機会の拡大、施工体制の強化を図る。

#### 株式会社海昌

設立	2004年5月
社員数	94名（技能職：約70名）
本社	高知県高知市
売上高	2,048百万円（2025年4月期）
営業利益	131百万円（2025年4月期）



足場いらずの鉄筋挿入工「スタンドドライブ工法」

### 事業譲渡

#### 分譲マンション事業の譲渡 2026年4月

分譲マンション開発・販売事業及び管理事業を譲渡し、グループ内事業の選択と集中を推進。法人・官公庁向け建設事業及び不動産事業へ経営資源を集中することで、競争力の強化と収益構造の安定化・高度化を図る。

#### 譲渡対象

- 分譲マンション開発・販売事業  
矢作地所 が運営
- 分譲マンション管理事業  
矢作ビル&ライフ が運営

#### 譲渡先

- 名鉄都市開発(株)
- 名鉄コミュニティライフ(株)

※譲渡した事業に係る売上高  
5,065百万円（2026年3月期）

## 建築事業



### Landport東海大府 I

工事場所	愛知県東海市・大府市
発注者名	野村不動産株式会社
工事期間	2023年11月～2025年10月

当社が開発・分譲した「大府東海工業団地」において、完成した大型物流施設。  
延床面積は当社で過去最大規模となる20万㎡超の規模。

## 土木事業



### 南知多道路武豊北インターチェンジ新設工事

工事場所	愛知県知多郡武豊町
発注者名	前田建設工業株式会社
工事期間	2021年5月～2025年5月

地域の交通利便性向上及び半田インターチェンジの交通集中軽減を目的としたインフラ整備工事。

## 不動産事業



### 豊田市御船井料開発プロジェクト

工事場所	愛知県豊田市
売却先	極東開発工業株式会社
売却時期	2025年7月

工場・テストコースの新設拠点となる敷地面積20万㎡超の産業用地を分譲。  
建築工事についても、当社で施工を進めている。

1  
2026年3月期業績

2  
2027年3月期業績予想

3  
株主還元及び  
資本収益性分析

4  
参考情報

# 事業別四半期推移



		2024年3月期					2025年3月期					2026年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	建築事業	15,964	15,947	14,921	18,630	65,464	15,846	19,949	27,742	22,991	86,529	28,573	33,726	27,403	22,635	112,339
	土木事業	5,998	7,818	8,325	8,623	30,766	6,498	7,287	8,764	9,622	32,172	7,128	9,634	10,145	10,907	37,817
	不動産事業	2,769	3,659	15,416	1,748	23,594	4,291	4,887	1,841	10,976	21,997	5,450	5,150	5,888	2,753	19,243
	合計	24,732	27,426	38,663	29,002	119,824	26,635	32,125	38,349	43,589	140,699	41,153	48,511	43,437	36,296	169,399
売上総利益	建築事業	769	951	917	700	3,339	795	423	2,220	1,237	4,676	3,455	3,140	2,429	2,031	11,056
	土木事業	832	2,004	1,609	1,799	6,245	821	1,370	1,859	2,108	6,159	1,075	1,984	2,001	2,771	7,831
	不動産事業	917	901	8,051	341	10,212	1,598	1,413	545	5,023	8,580	3,583	92	2,965	451	7,092
	合計	2,519	3,857	10,578	2,840	19,797	3,214	3,206	4,625	8,369	19,416	8,114	5,217	7,395	5,253	25,980

1

2026年3月期業績

2

2027年3月期業績予想

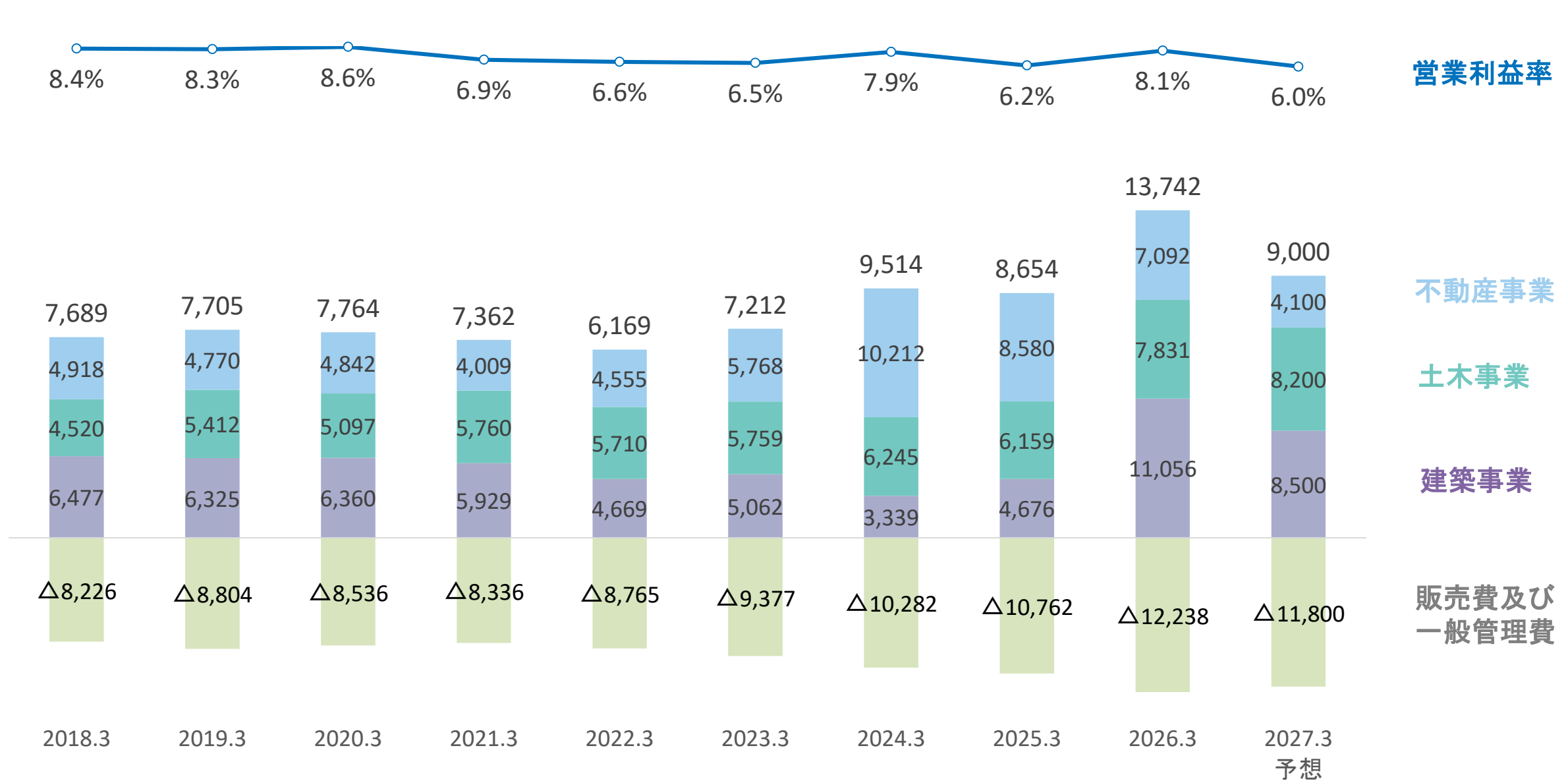
3

株主還元及び  
資本収益性分析

4

参考情報

# 営業利益の推移



1 2026年3月期業績

2 2027年3月期業績予想

3 株主還元及び資本収益性分析

4 参考情報

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。